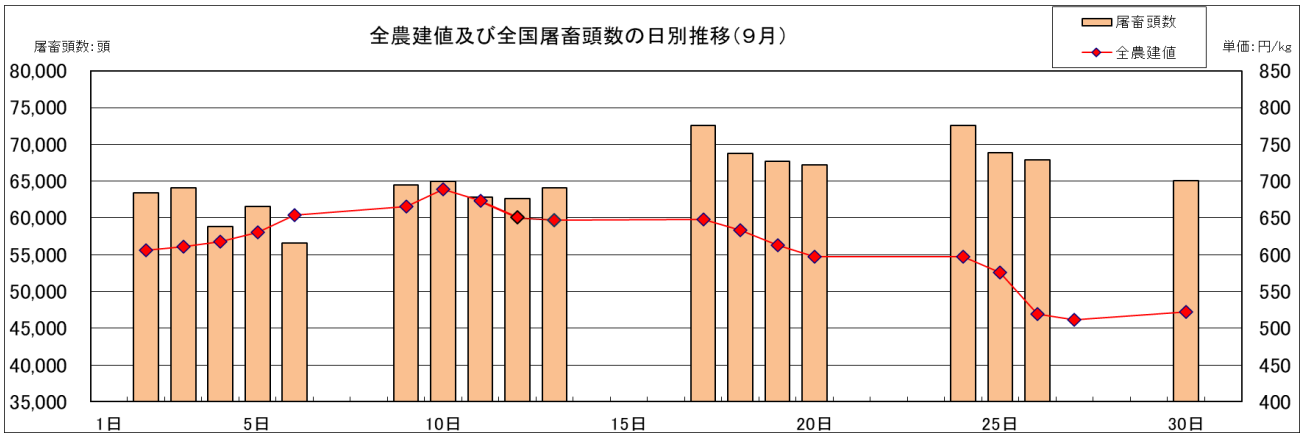
肉豚インフォメーション（９月）

●9 月の動向

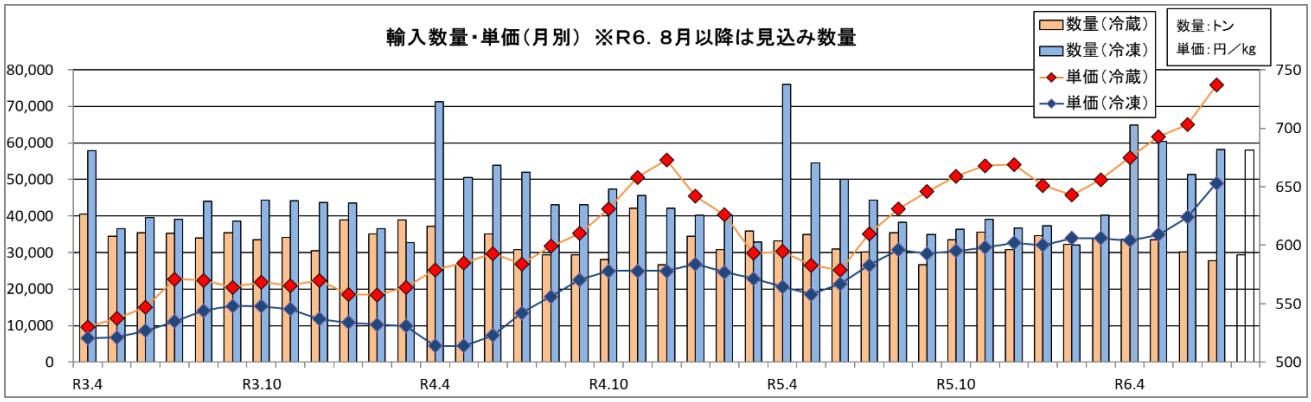
2024 年 9 月（税抜）	2023 年 9 月（税抜）
614 円/kg（39 円安）	653 円/kg

※全農建値

９月は、厳しい残暑が継続し、暑さの影響等で出荷頭数は増えなかった。しかし、連休が続く中でも末端消費は伸び悩み、相場は下旬にかけて急落した。

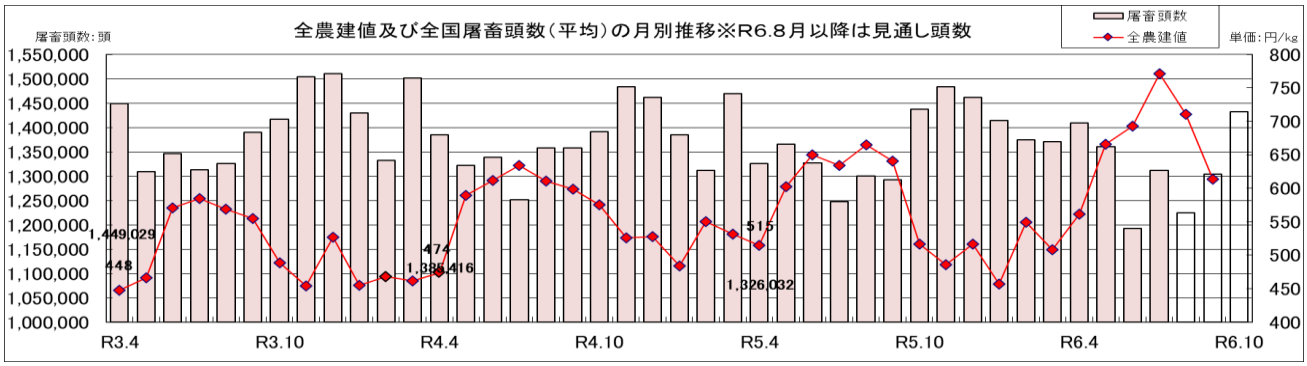


●輸入動向



●10 月の動向

10 月の出荷頭数については、前年並みと予測。



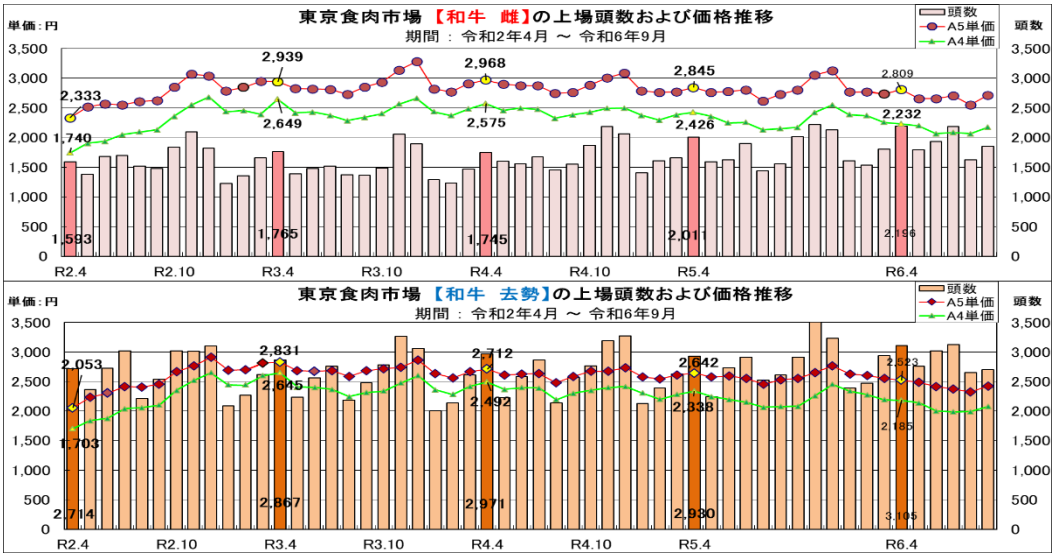
前半は高い気温が続く可能性はあるが、徐々に出荷頭数は増加し、前年並の価格で推移。
全農建値（税抜）予測レンジは 600 円～650 円とする。

ＪＡ全農いばらき　畜産部

肉牛インフォメーション（９月）

●９月の動向

９月の相場は、２度の３連休があったことから、上旬を中心に引き合いがやや強まったが、末端の需要は決して強くなく、ロース等の高価な部位は、未だに動きが鈍い。



●１０月の動向予測

１０月は大きな共励会が多く予定されていることから、所々で相場が緩むと予測するが、他の月と比較しても高品質な枝肉が集まる月であるため、和牛・交雑牛ともに、品質が良いものは引き合いがある。

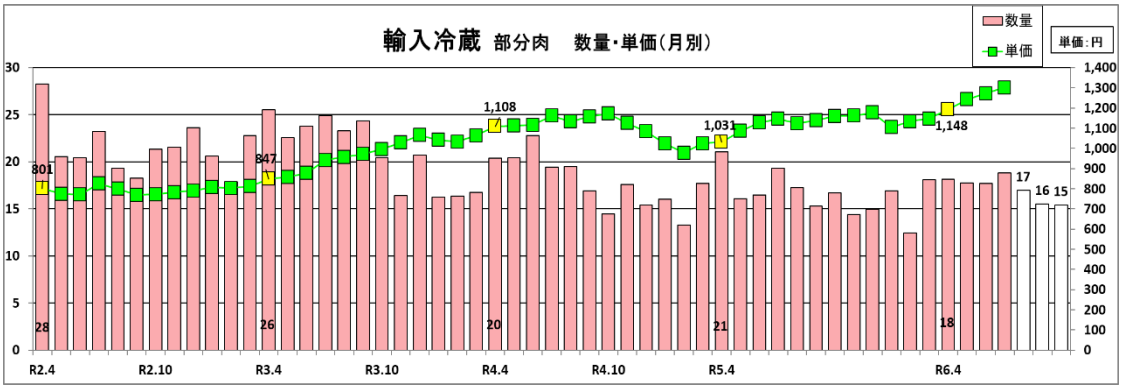
１０月相場は「もちあい」の展開と予想。

和牛去勢　A5 等級 2,450 円（税込み）　　A4 等級 2,000 円（税込み）

交雑去勢　B4 等級 1,750 円（税込み）　　B3 等級 1,550 円（税込み）

●輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、国内需要の低迷により低調に推移する中、９月は、輸入品在庫量が多かったことにより前年同月の輸入量が少なかったこと等から、前年同月をわずかに上回る一方、１０月は、輸入量の多くを占める豪州産及び米国産輸入量の減少が見込まれること等から、前年同月をかなりの程度下回ると予測する。なお、３カ月平均では、前年同期をやや下回る予測する。　　（ALIC 牛肉の需要予測について　９月２６日）



食肉インフォメーション（９月）

●９月の動向

○牛肉

９月は２度の３連休での行楽需要が期待されたが、残暑や台風の影響で消費は鈍く、特に和牛・交雑牛共にロイン系は低調であった。そのため各卸は価格値引きなどに走り、過剰在庫を避けるための対応に追われた。

乳用牛は、輸入牛の代替需要が若干弱まってはいるものの、学校給食の再開で堅調な動きとなった。

○豚肉

９月は３連休が続き、行楽需要としてバラや肩ロースの焼き材に引き合いがみられた。残暑が続いているため量販店などの鍋商材への切り替えは遅れている。

依然、消費者の節約志向は強く、需要は安価なウデ・モモが中心となっており、全体的に荷動きは弱い展開となった。

●10 月の動向予測

○牛肉

量販店では、例年であれば気温が下がるにつれて鍋物需要が増加し、肩ロース・バラ等のスライス商品が売り場の中心となる時期であるが、本年は気温が平年より高めに推移する予報から、BBQ 用の焼き材の需要が高まると予想される。

卸売り・量販店各社は、消費者の節約志向から和牛の販売は引き続き苦戦が見込まれ、交雑牛・乳用牛の引き合いは堅調に推移すると予想される。

○豚肉

秋の行楽需要も本格化する中、バラ・肩ロースやスペアリブなどの BBQ 商材の増加が期待される。１０月に入っても気温が高い状態が続いており、鍋商材への切り替えは例年より遅れると予想される。

１０月は、今年最多の 2,911 品目での食品値上げが予定されていることから、消費者の節約志向は続き、安価なウデ・モモなどのスソ物中心となる流れは変わらないと予想される。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター　業態別取引先実績（令和６年８月期）　単位：千円、%

年度	ＪＡどきどき	給食	仲卸	食肉専門店	量販店	飲食店	合計
令和４年度８月	24,730	673	29,433	13,956	13,397	5,128	100,384
令和５年度８月	21,513	1,875	22,213	18,074	9,862	6,317	79,854
令和６年度８月	24,360	1,112	23,439	18,951	12,272	5,815	85,949
増減（R5-R6）	2,847	-763	1,226	877	2,410	-502	6,095
対比（R4/R6）	99%	165%	80%	136%	92%	113%	86%
対比（R5/R6）	113%	59%	106%	105%	124%	92%	108%

ＪＡ全農いばらき　畜産部